

《目次》	P1…新年度挨拶	P6～7…各局のお知らせ	P11…病院、施設一覧
	P2…定期総会報告	P8…新入会員歓迎会参加報告	P12…編集後記
	P3…組織図・役員一覧	P9…病院紹介	
	P4～5…参加報告	P10…ふるさと紹介・てっ!	

新年度の挨拶

会長 内山 量史

平成 27 年 4 月 28 日（火）に開催された定時社員総会には会員 138 名の内、107 名（当日出席 62 名、書面評決 21 名、委任評決 24 名）と多くの会員に出席していただき感謝申し上げます。

定時社員総会では、理事会より提案させていただいた全ての議案に対して承認をいただきありがとうございました。

平成 26 年 4 月 1 日に念願の法人格を取得し社会的に責任ある職能団体としてスタートを切ったばかりですが、総会議案書の活動報告からも理解できるように、充実した学術活動、職能活動や広報活動に加え、関連他団体との合同事業の展開、県の事業への参画など確固たる役割を持つ団体として成長しつつあります。

特に全国初の試みとなった 3 士会合同での「第 1 回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会」の成功や介護予防に関するリーフレットの作成および広報活動といった地域支援事業、日本リハビリテーション病院・施設協会と協働で実施した「平成 26 年度老人保健事業「リハ専門職の市町村事業関与促進に向けた合同事業」in 山梨」など一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県作業療法士会との連携は山梨日日新聞にも取り上げられ、全国の地方組織からも 3 士会の連携のモデルとして注目されております。

また特別支援教育体制強化事業での県立ろう学校や総合教育センターへの言語聴覚士の派遣や特別養護老人ホームへのアドバイザー派遣、介護職場人材育成研修での講師など指導的な立場としても言語聴覚士の力を十分に発揮していただき関連団体からも称賛されております。

10 年先となった地域包括ケアシステムの構築や今後ますます重要視される介護予防を含めた地域リハビリテーションの推進は地域の力量にかかっていると思います。地域を支えるリハビリテーション専門職団体として山梨を元気にしていきましょう。

そのためには、我々言語聴覚士の資質の向上は欠かせません。県士会の活動を自己研鑽の場として是非これからも活用して下さい。

今年度も県士会の事業および 3 士会合同事業をはじめ県の事業等への参画など充実した活動を展開していきます。

今後とも県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。



平成 27 年度 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 定時社員総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

平成 27 年度 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 定時社員総会が、平成 27 年 4 月 28 日（金）午後 6 時 30 分より、ぴゅあ総合にて開催された。

司会の赤池三紀子副会長が開会を宣言したのち、定款第 18 条に基づき小室理恵子氏が議長に選出された。議事に入る前に出席者数の確認が行われ、出席者総数は 107 名（内、書面表決 21 名、委任表決 24 名）であり、定足数を満たし総会は成立することが議長より告げられた。次いで、議事録署名人に、石田礼氏、池神多加子氏が選出され、議案の審議に入った。

第 1 号議案の平成 26 年度事業報告に関する件では、河西祐子事務局局長、中村晴江学術局局長、赤池洋広報局広報部部长、赤池三紀子社会局局长より事業内容が報告された。また、規約委員会、第 1 回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会（山梨県言語聴覚士会第 7 回学術大会）、山梨県訪問リハビリテーション協議会、災害対策準備委員会、地域支援事業等推進委員会の報告が行われた。続いて、第 2 号議案の平成 26 年度収支決算報告に関する件では、小池京子財務部部长より収支決算報告がなされた。第 3 号議案 監査報告に関する件では、深澤有里監事より当法人の会計及び業務の執行について監査報告が行われた。採決の結果、上記議案はいずれも賛成多数で承認された。

第 4 号議案の平成 27 年度事業計画案に関する件では、各局局长、広報部部长より事業計画案について説明された。また、規約委員会、第 8 回学術大会実行委員会、災害対策準備委員会、地域支援事業等推進委員会、特別支援教育委員会準備委員会、第 2 回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会、選挙管理委員会の説明が行われた。第 5 号議案では、平成 27 年度の収支予算案が財務部部长より提出された。第 5 号議案、第 6 号議案共に賛成多数で承認された。

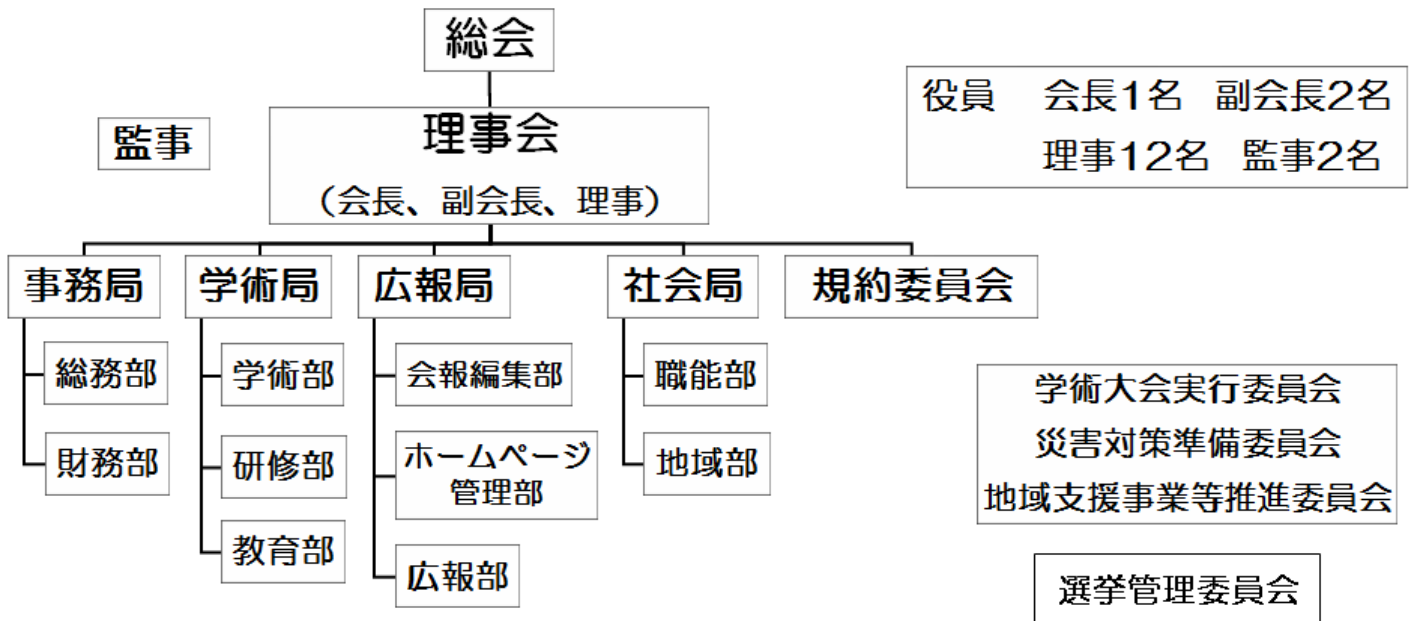
第 6 号議案の山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件では、内山量史会長より 3 士会合同の専門職団体設立の提案がなされ、異議なく賛成多数で承認された。

以上、理事会で提案した議案はすべて承認された。その後、平成 27 年度各部局委員の変更、諸規程、議員連盟についての報告があり、議長の職務は終了となった。

最後に、内山会長より、今年度も学術活動や広報活動、3 士会合同事業や県の事業への参画など充実した県士会活動を展開していきたいとの挨拶があり総会は閉会した。



<平成27年度 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 組織図>



<平成27年度 役員一覧>

会 長	内山 量史	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
副会長	赤池 三紀子	湯村温泉病院
	中村 晴江	甲府城南病院
理 事	赤池 洋	山梨大学医学部附属病院
	和泉 裕二	甲府共立病院
	河西 祐子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
	梶原 さわか	健康科学大学リハビリテーションクリニック
	小池 京子	国立病院機構 甲府病院
	佐々木 蘭子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
	高橋 正和	石和温泉病院
	武井 徳子	甲州リハビリテーション病院
	藤巻 千春	しらゆり訪問看護ステーション
	保坂 みさ	あけぼの支援学校
	矢澤 史帆	湯村温泉病院
	吉澤 由香	甲府城南病院
		以上 15 名
監 事	深澤 有里	山梨赤十字病院
	望月 眞由美	石和共立病院

第8回学術大会 大会長 中村 晴江
 実行委員長 赤池 洋

研修会参加報告

「リハ専門職の市町村事業関与促進に向けた合同学習会」 in 山梨に参加して

しらゆり訪問看護ステーション

藤巻 千春

栗原正紀会長



平成 27 年 2 月 11 日に山梨県理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の主催により開催されました。160 名の方が参加されたとのことでした。日本リハビリテーション病院・施設協会会長の栗原先生を始め、行政や他職種の講演。また地域ごとのグループワークと幅広い内容で、今年度の介護保険改定も見据えた、地域包括ケアにおけるリハビリテーションを考えるきっかけになりました。その方の家庭生活のみではなく、地域における生活をいかに具体的に予測できるか。地域とその方を「つなぐ」役割としてこれまで以上に私達には多くの事が求められています。地域の特性や資源を知るだけでなく、その地域に自分自身も位置しており、何を担っているかを知る事。高齢者が帰ることのできる地域と一緒に作っていく事も大切であると感じました。また、この研修会を通して、山梨の 3 士会の強い結びつきを改めて実感し、ST として、恵まれた環境で仕事ができることを改めて感謝した 1 日でもありました。

第 2 回 3 士会合同研修会に参加して

甲府城南病院

野口 愛奈

平成 27 年 2 月 6 日、150 名を超える 3 士会会員の参加の中、第 2 回 3 士会合同研修会が開催されました。一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協議会の栗原正紀会長を講師にお迎えして「地域包括ケアを支える多職種連携チーム医療の展開～地域包括ケア時代のリハビリテーション～」のテーマの下 2025 年問題や、地域包括ケアシステムについてご講演いただきました。講演の中では、どのような視点で急性期・回復期・生活期リハビリを行っていくのか、その理念や具体的な方法論もお話いただきました。包括ケアシステムの実現には、医療・生活の質の向上、医療従事者の負担軽減や、医療安全の向上を図る必要があります。その前提として、専門職の知識・技術の向上が必須であること、加えて今後は、他職種との連携がさらに重要になる事がわかりました。言語聴覚士として、自分自身の知識・技術の向上を図るだけでなく、他職種との関わりの中で、更に積極性が求められている事を改めて感じました。



第4回学術部講演会の参加報告

甲州リハビリテーション病院
小池 美帆

平成27年3月19日にぴゅあ総合で行われた、第4回学術部講演会「摂食嚥下障害のリハビリテーション手技について～効果的な間接訓練・直接訓練の実際～」に参加させて頂きました。

基礎評価のコツや、訓練適応の判断、検査、症状に合わせた訓練法の選択、治療的アプローチ、摂食姿勢と方法の工夫、食器・食具の工夫、献立の工夫、口腔ケア、チーム連携の重要性、リスク



管理、効果を上げるアプローチと訓練効果を上げられない背景。たくさんの内容を学ぶ機会となりました。講演会に参加し、的確な評価が有意義な訓練に繋がっていくということを確認することが出来ました。また、有意義な訓練は、研ぎ澄まされた観察眼や、耳や指先の繊細な感覚、豊富な知識や巧みな手技と、関連職種との密な連携から生まれるものであると、改めて感じました。

今回、学ばせて頂いたことを、これからの臨床に活かしていきたいと思います。

6回小児領域勉強会発表の参加報告

甲府共立診療所
石山 奈苗

平成27年3月14日に行われた小児領域勉強会で、私は今回「広汎性発達障害児に対して行った共感関係と母子関係についてアプローチ」について発表させて頂きました。本症例は、コミュニケーションの困難さに加え、行動のコントロールの困難さも抱えており、一年目であった私は試行錯誤する中で、多くを学ばせていただくことができました。そのため多くを伝えたい気持ちと、初めての発表という緊張も重なり、肩に力が強く入った症例発表となりましたが、小児領域の多くの先生に聞いて頂けたことは大きな学びとなりました。発表後の質疑応答にて多くの先生方から質問やアドバイスをいただくことができました。頂いたアドバイスを通して様々な視点を学ぶことができ、また今後の支援の課題も見つけることができました。今後も他の方の症例報告を聴かせていただく機会、発表させて頂く機会を大切にしながら、自己研鑽に努めていきたいです。

◆◇◆各局からのお知らせ◆◇◆

事務局

《局長 総務部 部長》 河西 祐子（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

《財務部 部長》 小池 京子（国立病院機構甲府病院）

＜総務部＞

定時社員総会や月 1 回の理事会の開催、議事録作成、会員への各種情報の発信、会員情報管理等を行います。会員は、新入会員 15 名を迎え 138 名となりました。今年度も多くの皆様に参加していただき充実した県士会活動が展開できるよう、タイムリーで正確な情報発信に努めていきたいと思っております。

＜財務部＞

会費の徴収や財務管理に加え、今年度から法人税の納税や源泉徴収に関する手続きも行います。会費納入がお済みでない方は、財務部長小池（国立病院機構甲府病院）まで直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会

社会局

《局長》 赤池 三紀子（湯村温泉病院）

《職能部 部長》 藤巻 千春（しらゆり訪問看護ステーション）

《地域部 部長》 梶原 さわか（健康科学大学リハビリテーションクリニック）

＜職能部＞

地域包括ケアシステムの取り組みが実質的に展開されていく今年度は、リハビリ専門職がベースとなり、具体的なサービス提供ができるように協会や他団体、行政と連携・協力していきます。また、東日本震災復興支援事業「福島復興支援」も継続し、9月に計画しています。社会局主催の認知症サポーター養成講座は8月に企画しています。

＜地域部＞

今年度第 20 回を迎える山梨県失語症者のつどいが記念大会となるべく、計画の段階から県士会を挙げて取り組みます。県特別支援教育体制強化事業も専門的サービスが評価されてきており、昨年度より多い人数で対応します。少子社会の中、小児領域における活躍はますます期待されていますので、多くの方々に興味や関心を持っていただき、まずは月 1 回の学習会に足を運んでいただけますよう、よろしくようお願い申し上げます。

学 術 局

《局長》 中村 晴江（甲府城南病院）

《学術部 部長》 吉澤 由香（甲府城南病院）

《研修部 部長》 高橋 正和（石和温泉病院）

《教育部 部長》 佐々木 蘭子（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

学術局では、本年度も「学術部」「研修部」「教育部」の各部長を中心に会員の生涯教育の啓発、臨床技術・学術的資質の向上を図るために、以下の講演会や研修会を開催する予定です。

- ・学術部：学術講演会 4 回/年 生涯教育基礎講座 4 講座/年
- ・研修部：症例検討会（症例検討およびミニレクチャー）6 回/年
小児領域研修会 6 回/年
- ・教育部：新卒者研修会 6 回/年

生涯学習プログラムに対する、会員参加率は全国でも類を見ない高さとなっています。今後も自己研鑽の一助となるよう部員一同活動を行ってまいりますので、会員の皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

広 報 局

《局長》 武井 徳子（甲州リハビリテーション病院）

《ホームページ管理部 部長》 和泉 裕二（甲府共立病院）

《広報部 部長》 赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）

《会報編集部 部長代理》 廣瀬 由紀（甲府城南病院）

広報局は会報編集部、ホームページ管理部、広報部の3部体制で活動しています。各部では当士会の活動と共に「言語聴覚士」の専門職を社会に広くアピールするためにアグレッシブに情報発信していきます。会員の皆様、本年度も宜しくお願い致します。

＜ホームページ管理部＞

- ・「推薦図書」と「臨床上の工夫」の原稿を各病院の先生方へ執筆依頼し、HPへアップして行く予定です。
 - ・県士会 NEWS の Web 版の掲載を行います。
 - ・各部局からのお知らせを随時掲載し、会員へ提供していきます。
 - ・学術大会ページを作成し、会員へ情報提供していきます。
 - ・ホームページ管理部における作業マニュアルの作成を今期中に行います。
- 今年度も会員の皆様のご協力、宜しくお願い申し上げます。

＜広報部＞

広報部では当士会の広報グッズ（パンフレット、ボールペン、のぼり、パネル）の配布や貸出を行っております。啓発活動等で活用して頂きたいと思っておりますので、ご希望の方は広報部部長赤池までご連絡下さい。

＜会報編集部＞

第32号発行（平成27年7月）、第33号（平成27年10月）・第34号（平成28年2月）発行予定。会員の皆さんに原稿を執筆頂いて、今年度も計3回の発行を予定しています。今後とも、宜しくお願い致します。

平成 27 年度 一般社団法人言語聴覚士会

新入会員歓迎会 参加報告



湯村温泉病院 山城 瑛規

平成 27 年度新入会員歓迎会が、5 月 29 日（金）にレストラン シャンモリにおいて開催されました。

言語聴覚士として新たな生活を始められた新人の方、他県より移動されて来られた先生方「入職おめでとうございます。ようこそ山梨県言語聴覚士会へ」皆さんとともに働けることを心より嬉しく思います。

私も 3 年前に入職した時は、今の皆さんと同じように何も分からず不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、丁寧に指導をくださる諸先輩方に恵まれ、ようやく先輩方と共に考え、学びを得る楽しさを実感できるようになってきました。山梨県言語聴覚士会は、講演会や症例検討会などの学術活動や新人教育の場が充実し、たくさんの学びを持ち帰り、臨床現場に活かすことができる機会に恵まれています。また、山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会との連携も深く、活躍できるフィールドが広いと思います。

末筆になりましたが、みなさんもわからないことは先輩方に聞き、1 日も早く言語聴覚士として、そして教養ある社会人として活躍できるよう一緒に頑張っていきましょう。

病院紹介

しもべ病院

当院は昭和57年8月に武田信玄の隠し湯として知られる下部温泉郷に、療養型病床(94床)として開院され、内科対象疾患、リハビリテーション対象疾患における医療提供を行なっています。特にリハビリテーションに特化しており、デイケア、訪問リハビリテーションの運営により高齢者医療、地域医療の役割を担っています。

当院は峡南地域リハビリテーション広域支援センターの相談窓口を併設し、相談事業、研修会の開催など、地域と地域リハビリテーション従事者・機関との架け橋となっています。リハビリテーション科は現在、理学療法士11名、作業療法士5名、言語聴覚士1名で構成されています。

当院での言語聴覚士の役割は療養型に伴い、摂食・嚥下障害が中心となりますが、失語症、構音障害等、多岐にわたります。入院の他、外来も行なっています。言語聴覚士として、峡南地域のさらなる体制づくりに励んでいきたいと考えています。(文責 井上 仁)



山梨県立中央病院



当院は病床数651床の急性期病院であり、ドクターヘリを有し、24時間体制で三次救急医療を提供しています。リハビリテーション科は、25年度より作業療法士部門開設、26年度より言語聴覚士部門開設し、昨年度より3部門がそろいました。配置人数としては、理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士1名にて入院患者のリハビリを実施しています。当院は、救急医療・周産期医療・がん医療に力を入れていることもあり、昨年度の実績としても、全処方数260名に対して、脳神経外科からの処方に

次いで、救命センターからの処方が多い状況でした。周産期領域に関しても、症例数はまだ少ないですが、新生児期の哺乳障害にも対応させて頂いています。今後はがんリハビリテーションに関しても開始予定となっています。まだ言語聴覚士が在籍し、1年余りの為、病院全体での認知度が低い状況ですが、病院内での言語聴覚士の役割を果たしながら、県内外の急性期医療を盛り上げていけるよう励んでいきたいと思っております。(文責 中嶋 崇博)

ふるさと紹介 一東京都国立市一

石和共立病院 近藤 七海

「東京都」と聞いて、都心の華やかな風景をイメージする方も多いのではないのでしょうか。実は都内でも、西部に行けばいくほど閑静な住宅街や自然豊かな山々も広がっています。

私の出身である国立（くにたち）市は、地理的には東京都のほぼ中央に位置します。立川～国分寺間にあることが市名の由来です。JR 国立駅から南へ真っすぐ伸びる「大学通り」は幅が約 44 メートルもあり、街のメインストリートとなっています。大

正から昭和にかけての開発当時は、飛行機の滑走路としても使われていました。現在は桜とイチヨウが交互に植えられ、春には桜、秋には紅葉、冬にはイチヨウの木にイルミネーションがともされ、四季折々の景色が楽しめる「新東京百景」の一つです。通り沿いには一ツ橋大学があり、市民のお散歩コースとなっています。

都心とはまた違った、のどかな雰囲気味わえる国立市は立川駅（特急あずさ停車駅）の隣りです。街歩きが好きな方は、自然豊かなこの町にぜひお越しください。



てっ！！行ってみるじゃん

～ハーブ庭園 旅日記～

※甲州弁で

【てっ】驚いた様子

【行ってみるじゃん】行ってみよう

市立甲府病院 沓名 結依



山梨はハーブも有名なのでしょうか。散策しているとたくさんのハーブのお店を見かけますが、特に私がお勧めするのは、甲州市勝沼町にあるハーブ庭園旅日記です。ハーブはもちろん、チューリップやシクラメン等、たくさんの花を見ることができます。季節ごとに植えられている植物が違うので、行くと毎回違う景色を楽しめます。私はハーブには詳しくないですが、食べると甘いハーブやカレーの香りがするハーブ等、不思議な種類を見つけるとわくわくします。植物の少ない冬は夜のイルミネーションがとても綺麗です。ハーブの足湯もあります。また、園内の案内やショップ内の化粧水を販売しているスタッフの方のお話がとても面白いのでお勧めです。園内は 30 分程あれば十分に楽しめる広さです。疲れた時にはたくさんの花たちが癒してくれます。入場も無料なので、お時間のある時にぜひ立ち寄ってみてください。

平成 27 年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

平成 27 年 5 月現在

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	市立甲府病院 リハビリテーション室	400-0832 甲府市増坪町 366	Tel 055-244-1111 Fax 055-220-2650
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597
一宮温泉病院 リハビリテーション部	405-0077 笛吹市一宮町坪井 1745	Tel 0553-47-3131 Fax 0553-47-3434	甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5811 Fax 055-241-8660
巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614	今村耳鼻咽喉科 めまい・難聴クリニック	400-0124 甲斐市中下条 868	Tel 055-277-8741
健康科学大学 リハビリテーションクリニック リハビリテーション課	401-0302 南都留郡富士河口湖町 小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
笛吹中央病院 リハビリテーション科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985	山梨厚生病院 リハビリテーション室	405-0033 山梨市落合 860	Tel 0553-23-1311 Fax 0553-23-0168
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727
湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0005 富士吉田市上吉田 6530	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
恵信りほく病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890
山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556

<福祉関係>

名称	所在地	電話
しらゆり 訪問看護ステーション	400-0114 甲斐市万才 289	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939
森のデイサービス さんりん舎	409-1501 北杜市大泉町西井出 8240-5354	Tel 0551-38-2203 Fax 0551-38-2204
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221

<教育関係>

名称	所在地	電話
富士・東部 小児リハビリテーション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
田中美郷教育研究所 ノーサイドクリニック甲府	400-0858 甲府市相生 1-3-16 まごころ補聴器内	Tel 055-233-9286 Fax 055-233-9266
山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628

編集後記

新年度を迎え、涼しかった風が少し熱を帯びてきました。

各病院では新人の方を迎え、日々の業務にも更に力が入っていることと思います。今回の県士会 NEWS では、新人歓迎会の様子や、しもべ病院・山梨県立中央病院の病院紹介といった新しい顔ぶれの記事となっています。

山梨言語聴覚士会にもたくさんの会員が増え、これだけ山梨の仲間が増えてきたことに、嬉しさと同時に身の引き締まる思いがします。

そして、次号には新人の方々のフレッシュな自己紹介が掲載されますので、ぜひ楽しみにして下さい。

会報編集部にも新たなメンバーが増え、今年度もよりよい県士会 NEWS をお届けできるよう、みんなで努力していきたいと思えます。

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

<発行人> 内 山 量 史

<編 集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集部

石和温泉病院：坂井隆一

石和共立病院：鈴木千裕

一宮温泉病院：倉島雪乃

甲州リハビリテーション病院：武井徳子

甲府城南病院：中村晴江、廣瀬由紀

白根徳州会病院：清水菜月

市立甲府病院：丸井章子

山梨リハビリテーション病院：小松富美子

湯村温泉病院：山城瑛規

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内

〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府 436

TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2015 年 7 月 7 日 第 32 刊